

江東区 青少年委員だより

No.80号

江東区青少年委員会
広報部
江東区地域振興部青少年課
地域連携係
江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

無事に迎えられた青少年委員制度発足70周年記念講演会&祝う会

令和3年度より準備をはじめ、ようやく令和5年度、青少年委員制度70周年を迎えることとなり、記念として講演会と祝う会を行いました。

講演会

テーマ

「実情にあったPTA活動の勧め」
～加入、教職員、地域、記念品、部活動～

令和5年10月26日(木)、江東区文化センターにおいて、弁護士の山岸純氏をお迎えし、「実情にあったPTA活動の勧め」というテーマで記念講演会を開催しました。

江東区立小・中学校PTAの保護者をはじめ、青少年対策地区委員会委員、他区の青少年委員、元青少年委員、現役青少年委員など149名の多くの方が参加されました。

今回のテーマは昨今のPTA活動について興味深い内容であり、PTA加入問題の現代的解決法、PTAの現状、将来的な地域とPTAの関わり、PTA運営における直近の課題など具体的な説明と、興味深い話が多くあり、参加者は熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

講演後は来場者から多くの質疑応答があり、講師の方から丁寧にアドバイスをいただきました。



講師の山岸 純氏



真剣に耳を傾ける参加者

感想

- PTAの運営について悩みが尽きないが、今回の講演は大変勉強になった。
- 困っていることの相談に乗ってもらえてとてもありがたかった。
- 参考になった。
- 初心に帰り、PTA活動を見直すことができた。
- 教職員との関わり、どのように参加してもらっているか、他校の情報も知りたい。
- 再度話が聞きたい。

祝う会

あれから10年、懐かしい顔ぶれ
スライドショー&パフォーマンス
に感動!!

令和5年11月16日(木)、ホテルイースト21 東京において「青少年委員制度発足70周年を祝う会」を開催しました。

武越信昭副区長をはじめ、来賓35名、元青少年委員52名のご臨席いただき、現役青少年委員43名が一堂に参加し、盛大に式典を執り行いました。

開会のことばで祝う会が始まり、福山会長の挨拶、来賓の方々からお祝いのおことばをいただき、歓談の時には久しぶりの新旧委員再会で、いたるところで話に花が咲いていました。



激励とともにお祝いのおことばをいただきました



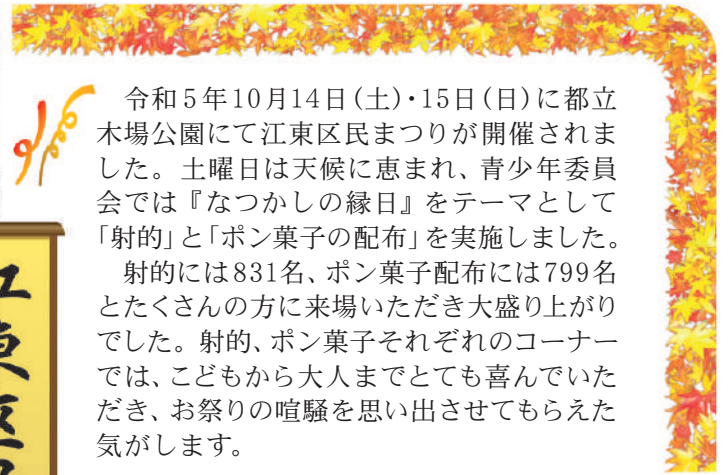
コメディタッチで委員活動を紹介

会の終盤では、当委員会広報部制作による「青少年委員70年のあゆみ」をまとめたスライドショーが上映され、懐かしい当時の写真が映し出されると、大きな歓声と拍手がわき起こりました。続いて現役青少年委員の有志による現在の活動を寸劇にしたパフォーマンスが行われ、これにも大きな拍手と笑い声が会場を包みました。

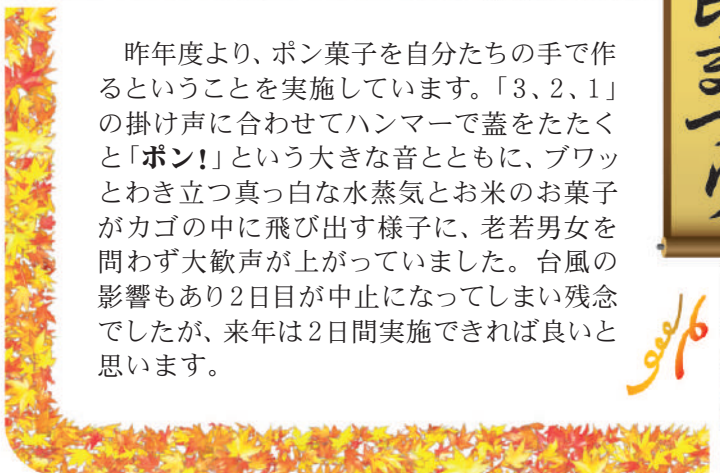
最後まで盛大に、そして楽しく和やかな至福のひとつときでした。



今年も大好評! 狙いを定めて!!



令和5年10月14日(土)・15日(日)に都立木場公園にて江東区民まつりが開催されました。土曜日は天候に恵まれ、青少年委員会では『なつかしの緑日』をテーマとして「射的」と「ポン菓子の配布」を実施しました。射的には831名、ポン菓子配布には799名とたくさんの方に来場いただき大盛り上がりでした。射的、ポン菓子それぞれのコーナーでは、こどもから大人までとても喜んでいただき、お祭りの喧騒を思い出させてもらえた気がします。



昨年度より、ポン菓子を自分たちの手で作るということを実施しています。「3、2、1」の掛け声に合わせてハンマーで蓋をたたくと「ポン!」という大きな音とともに、プワッとわき立つ真っ白な水蒸気とお米のお菓子がカゴの中に飛び出す様子に、老若男女を問わず大歓声が上がっていました。台風の影響もあり2日目が中止になってしまい残念でしたが、来年は2日間実施できれば良いと思います。

ポン菓子



ポン菓子配布にも長い列!

ジュニアリーダー 講習会 閉講式

福山会長から修了証書を授与

修了生代表による
誓いの言葉



令和6年2月4日(日)、青少年交流プラザレクホールにおいて、令和5年度ジュニアリーダー講習会の閉講式が行われました。当日は、初級、中級の受講生が集い、各講習会の代表者に修了証書が授与され、初級(城東地区)の代表者には福山会長が手渡しました。初級講習会の修了生は中級講習会へ、中級講習会の修了生は、今後はジュニアリーダーとしてさまざまなイベントで活躍します。修了生の皆さんの活躍を期待しています。



生徒会交流会



令和6年1月20日(土) 深川第八中学校において、区内の中学校から生徒会役員66名が参加し「生徒会交流会」が開催されました。今回のテーマは「ネットいじめ防止について考えよう～SNSルールを心通うものに」とし、第1部は4校ずつ6グループに分かれ、サポート役として青少年委員もディスカッションに加わりました。各校が自校のSNSルールについての事例を紹介し、後半のグループ発表に向けて意見をまとめていきました。

第2部は各グループがどのようなSNSルールが良いかを発表しました。その後各グループの意見をもとに全体で1つのルールにする作業を行いました。短時間で最終的に1つにまとめたことは大変すばらしいことだと思います。今回の交流が一過性のものとならないよう、今後の生徒会活動がますます充実したものになることを期待しています。

たくさん
の意見が
出た
ディスカッション



各グループ
による
発表



宿泊研修

令和6年2月23日(金・祝)・24日(土)、4年ぶりに宿泊研修を茨城県にて行いました。

区役所をバスで出発し、車中で第二次世界大戦中の映像

資料の視聴や東京大空襲被災体験記を閲覧し、次の日に向けての予備学習を行いました。2日目、筑波海軍航空隊記念館【※1】(同県笠間市)・予科練平和記念館【※2】(同県阿見町)では、館内ガイドによる戦争の歴史を聴講し、被災体験や映像資料を視聴しました。また、町のガイドによる戦争遺跡巡りでは、阿見町に現存する有蓋掩体壕【※3】や殉職者慰霊塔を見学しました。

戦地に赴く少年たちの手紙や、当時の生活・家族の気持ちなどを知り、身につまされる思いになりました。この研修で、改めて次世代への伝承と命の尊さ平和の大切さを学びました。東京からも近く、各地域や団体での研修や見学会に活用できると思いました。



委員同士の交流を深められた研修でした (予科練施設前にて撮影)



ガイドさんの話を真剣に受けとめ、平和の大切さを学びました

- 【※1】…昭和13年当時の司令部庁舎をはじめ、滑走路など当時を体感できる場所となっており、現在は映画やテレビのロケ地などでも使用されています。
- 【※2】…予科練とは「海軍飛行予科練習生」の略称で、昭和14年に旧海軍が、14～17歳までの少年を全国から試験で選抜し、搭乗員としての基礎訓練を行った所
- 【※3】…「ゆうがいえんたいごう」空襲から軍用機を守るため造られた横穴状の施設

地区会探検

深川南部地区

深川南部地区では令和5年12月19日(火)に、三者懇談会を開き、地区の各小中学校の校長先生、PTA会長と懇親を深め、学校、地域のあり方などについて話し合いました。また、ジュニアリーダーを招いて、ゲームなどで盛り上がりました。

ジュニアリーダーへの理解も深まり、とても有意義な会となりました。



二十歳のつどい

令和6年1月8日(月・祝)に、ティアラこうとうにおいて4,133名を対象にした「二十歳のつどい」が開催されました。今年度も4部制で、和太鼓演奏や緞帳ライティング「光のファンタジー」のパフォーマンスに始まり区長・議長による挨拶、二十歳の方の決意表明、そしてお楽しみ抽選会があり最後に出立の三本締めが行われました。

参加者の皆さんは、明るい笑顔で会場に入り、決意も新たにされたのではないのでしょうか。

青少年委員は昨年より打合せを始め、当日は朝8時に集合し区職員の方々と一緒に会場の準備をしました。写真スポットでの記念撮影のお手伝いや記念品の配布、入退場の誘導など、二十歳の皆さんやご家族の記念となる式典の一助になればとの思いでした。「おめでとう」の気持ちを届けるつもりが、参加者の皆さんからたくさんの笑顔をいただき、私たちがまた明日への活力をいただいた気持ちです。



折り紙講習会



説明を聞く参加者たち



中学生体験プログラム

令和5年12月16日(土) 深川第五中学校にて、青少年委員会主催による「中学生体験プログラム 折り紙講習会」が行われました。当日は、青少年委員の岩佐郁子講師の指導の下、参加した生徒たちだけでなく青少年委員も色とりどりの折り紙を使って、クリスマスツリー・クリスマスベル・サンタクロースなどを折りました。最初は普段手にしない折り紙に戸惑いましたが、折り紙の基本を教えていただき慣れてくると時間はかかりましたが、レッド・グリーン・ホワイト・ゴールド・シルバー色のクリスマス気分が高まる折り紙がたくさんできあがり、部屋全体が心温まる空間となり自然に参加者全員笑顔になりました。また今回感じたことは綺麗な色の一枚の折り紙を器用に折ってさまざまな形に変形する様子は、外国人の方とのコミュニケーションツールのひとつとして使えると強く思い、日本が世界に誇る文化のひとつだと感じました。

講師講評 折り紙に関わって…… 岩佐 郁子

日本の伝統文化の一つである折り紙を、中学生に教えることができとても良かった。

折り紙は幼少期に折ることは多いが、大きくなればなるほど折らなくなっている。今回は季節のもの(クリスマス)をテーマにしたことで中学生には新鮮だったようで、楽しく制作して素敵な作品を仕上げていた。

折り紙を折ることで、忍耐力や集中力が生まれ、色彩感覚や思考力や想像力を育み、手先のトレーニングになり、空間認知能力が鍛えられるなど多くのメリットがあり、特にコミュニケーション力が育まれる効果が大きいとある先生に教わった。

折り紙は年齢に関係なく幼児からお年寄りまで遊べるツールではないかと考えている。

これからも、折り紙を「折れない・嫌い」ではなく、あまり好きじゃないけど何とか折れるよ」と言ってもらえるように、丁寧にわかりやすく、楽しい折り紙講師であり続けたい。

編集後記

NHK新用字用語辞典第2版及び江東区で使用している用語に従った「校正規則」とにらめっこ？しながら作成いたしました。一例をあげると児童…小学生、生徒…中学生という具合です。そのような用語のこだわりも見ていただくと面白いかな？と思います。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。(O.K)